

# 四季の路から



地域福祉だより(通巻152号)

令和5年3月31日発行

森の里地区

地域福祉推進委員会

地域福祉推進委員会 HP <http://morinosato-tiikifukushi.com/>

## 梅見会 短歌・俳句 表彰式

2月19日若宮公園梅園と公民館体育室にて開催されました。短歌・俳句にたくさんのご応募がありました。

【短歌】中学生の部 34首 一般の部 10首

【俳句】小学生の部 35句 一般の部 29句

その中から審査会で選定された入選作の表彰式が行われました。

## 入選作品

### 【短歌 中学生の部】

春の思い桜が散れば友も散る  
時を繋げば想いも繋ぐ  
森中二年 \*\*\*\*\*

雪解けし色づく花が春を呼ぶが  
手のひらかざし眺める光  
森中二年 \*\*\*\*\*

梅つぼみじつくり冬を耐え抜いて  
共に進もう次のステージ  
森中二年 \*\*\*\*\*

紅葉散り気づけば一つ歳重ね  
空澄みわたり想い出かける  
一丁目 \*\*\*\*\*

久々に心安らぐ午後にして  
咲く梅の一花愛でるかな  
二丁目 \*\*\*\*\*

はつきりと物言つ夫と頑固なる  
父との会話梅見に和む  
五丁目 \*\*\*\*\*

【俳句 小学生の部】  
お煮しめの人参に見る梅の花  
森小六年 \*\*\*\*\*

おばあちゃん作る梅ぼしでらうめえ  
森小六年 \*\*\*\*\*

春になり一つ先の階段へ  
森小六年 \*\*\*\*\*

【俳句 一般の部】  
梅の花一枝そえる道祖神  
一丁目 \*\*\*\*\*

真夜中や訪問看護梅一輪  
一丁目 \*\*\*\*\*



ここからは、入選作品を除いた  
応募作品を原文のままご紹介しします。

### 【短歌 一般の部】

散歩して梅はまだかと公園に  
もう少し待ってとつぼみが言ってる  
白梅は梢戦がず花と香を  
コロナ八波は転禍為福を  
街中をゴミを拾って帰り道  
梅公園でほつとひと息

見収めと八十路の命明日知らず  
目にかすみゆく一輪の梅  
梅の花 一輪二輪赤白に  
ほのぼの香る森の里だな  
ホーホケキヨコロナ禍なんて何のその  
一声聞いて癒やされている  
早春の森の里での梅まつり  
老若男女和気あいあいだ



### 【俳句 一般の部】

梅見酒あぶり魚を手でちぎり  
根株よりひっそりとさく薄紅梅  
散歩中梅はまだかと公園に  
初春や梅の香ほのか 咲きにまほう  
観梅や卒寿の母と歩きけり  
秋空やはずむ心のバス旅行  
雪の富士雲沸き立ちてかくれんぼ  
バスのたびたべそこなつたどびんむし  
富士山に飛行機雲残し秋の空  
腰痛の兄を誘って梅見かな  
コロナ禍を梅一輪にいやされる  
バス旅行深谷ネギ買ひ御朱印も  
梅咲くや空の青さを深めゆく  
初鳴きを遠くに聞くとや梅の里  
青空に紅梅映える散歩道  
風月と共に歩みし梅の里  
ゆるぎなき花にみせられ 春をまく  
梅の花ウグイス呼んで香り立つ  
うめのはなはるをむかえるやくめかな  
春風に主感(おも)じて尾ふるホチ  
厳冬に銀粉の舞う里の朝  
梅咲くや手に米粒のピクニック  
森の里とぎつつろいて梅の里  
ひらめきの一句がうれし梅日和  
老木に梅が咲いたぞ朝散歩  
早梅を酒の肴に酒二合



### 【アトラクション】



なごみ太鼓の演奏の様子  
迫力ある太鼓の音に拍手喝采

【俳句 小学生の部】

春くれば思いたすよ梅見会  
 霜とけて里を彩る梅の花  
 寒空に春の訪れ梅の花  
 すこしずつきれいなってく梅の花  
 梅の花風とともに散ってゆく  
 春疾風に吹かれ散りゆく梅の花  
 春の雪とけゆくすがたうつくしい  
 ゆれる木に鳥のいるらし梅ぼやし  
 梅の花赤白染まるキャンパスだ  
 年あけて春を知らせる梅の花  
 うぐいすと温かい風鳴呼春だ  
 春が来たはなみずつらいする日々  
 梅林花びら染まりはなやかだ  
 春になりつぼみが花に変わっていく  
 梅見会俳句とともに開花する  
 梅の花一度咲いてはまた散り積もる  
 梅ジューズみんなのでおいしいな  
 大好きな犬と感じる春の風  
 春になり梅のつぼみが咲いてゆく  
 春になり梅園に咲く赤い花々  
 はるのうめいつもこのじきできている  
 梅の木につぼみがついた花の子だ  
 紅色の梅がほころび春告げる  
 新春だきれいな梅が狂い咲く  
 花開き日差し照らされ春を知る  
 春風になびいてちりゆくさくららの木  
 紅白の梅の花咲く楽しみだ  
 梅の実に香りにつられみな集う  
 年初め開花の訪れ梅の花  
 桜見て家に帰って花疲れ  
 桜咲く春が来たんだうれしいな  
 梅の花立春とともに開花する



〈番外編 短歌に応募〉  
 つばめの子 母さん鳥の 元はなれ  
 自分の道へ 飛び去って行く

【短歌 中学生の部】

青々とひかる実しぼる空の下  
 ばあちゃん特製梅ジューズのとぎ  
 つめたさが体を覆う毎日も  
 人の笑顔があたたかくする  
 当てもなく駆けずり回る木々の間で  
 梅が桜が次当たるかな  
 麗かな薄紅梅の梅の木に  
 見とれていたらウグイス鳴いた  
 濃厚な蜜を口にし味わうと  
 口の中には春が広がる  
 冬すぎたあたたくなり春がくる  
 雪がとけてき緑が芽吹く  
 冬終わり小さなつぼみ花ひらく  
 春の風たち体をなでる  
 梅の花なぜ萌えるべく消えゆくの  
 我見ぬほどに散り落ちてゆく  
 春の朝太陽がでて暖かい  
 春にしかない気持ちいい朝  
 晴れた日にまどべにいくときもちくて  
 朝の寒さは忘れていった  
 春がきて山の景色に色がつき  
 桜が舞い落ち春を感じる  
 春がきた桜ひらひらまいおちる  
 山の景色も春へとかわる  
 ひだまりの玄関あけると梅の花  
 春風と共にふわりと香る  
 枯れた木にひとつのつぼみ見つけては  
 梅の香りを待ち焦がれる心  
 春風がたなびく二月梅の色  
 人もお花も十人十色  
 梅の花厳寒の中耐え忍び  
 凜と咲く姿みとれてしまふ  
 桜舞う桃色の道を歩く時  
 ふと聞こえてくる春のささやき  
 北風に春の便りを知らせるは  
 桜のつぼみと誕生日  
 〈番外編 俳句に応募〉  
 爛漫とレンズに映える山桜  
 土日にて春を感じた梅の色

梅見会に多くのご来場

ありがとうございました。

ご応募された短歌・俳句は短冊にして梅園に飾り付けました。色とりどりの短冊はキラキラとして、梅の花とともに春の訪れを感じさせてくれました。また、アトラクションのなごみ太鼓・ハミングバード・三増獅子舞の素晴らしい演奏に心もはずみ、主催者関係者含めて約300人が楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

青い空赤いつぼみがふくらむと  
 春風によつて冬がとけだす  
 青天の春一番に吹かれれば  
 心に鳴った出会いの音が  
 春の風ゆらゆらゆれる桜の手  
 風にゆられれば桜にそまる  
 咲き誇る桜の花が舞い踊り  
 うぐいす鳴けば心穏やか  
 今日僕なつてみせよう青くても  
 ただ凜とあるあの実のように  
 桜咲き桜の匂い漂う日々  
 桜散れば春が終わる  
 まだ寒いみんなて言つて外に出る  
 見るのは梅で聴くのはウグイス  
 桜が舞い見慣れた景色彩られ  
 ほのかに感じる春の訪れ  
 寒空にふと気がつけば梅香る  
 もうすぐそこに春の足音  
 春の香りたどつていけば梅林  
 枝に咲いてる白い小鳥  
 朝がきて眠気をさます油風  
 鳥のさえずり春を知らせる



「もりの応援隊」利用チケットについて

利用登録の際に、ご説明しておりますように、  
 1.利用チケット有効期限: 期限はありません。  
 2.不要チケット引き取り: 使わなくなったチケットは引き取りの上、返金いたします。  
 ご不明な点がありましたら、「もりの応援隊」の連絡先まで問い合わせ下さい。(平日8:30~11:00)  
 「もりの応援隊」連絡先 電話:\*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*



「安心コール」お申込みについて

森の里にお住いの70歳以上の一人暮らしの方  
 または70歳以上のみの世帯の方に週に1回、決まった時間に電話をして「お元気ですか?」と声掛けをするものです。連絡が取れない場合はご自宅へ訪問などで安否確認をいたします。  
 申し込みは担当民生委員または森の里市民センターにご連絡いただくと、担当民生委員が訪問しお手続きをいたします。

お誕生おめでとございます。

健やかなご成長をお祈りいたします。

R4年 11月 \*\* \*\*\*(\*\* \*\*\*)さん \*丁目